

取扱説明書

製品名称： 圧力計

代表品番： G46-2.4.7.10-01,02-SRA

G46-2.4.7.10-01,02-SRB

- ご使用前にこの取扱説明書をよく読んで下さい。
- 読み終えるまで製品を取付けしないで下さい。
- いつでも参照できるように保管しておいて下さい。

目 次

1. 安全上のご注意	ページ 1 ~ 3
2. 用途	4
3. 仕様	4
4. 型式表示方法	4
5. リミットインジケータの設定方法	5
6. 目盛様式	5
7. 外観図／パーツリスト	6
8. スペアパーツ	6

連絡先・SMC株式会社


〒101-0021


東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 15階


Tel. 03-3502-8271

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い戴き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO4414 *1)、JIS B 8370 *2) およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

 **注 意**：取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

 **警 告**：取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

 **危 険**：切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

*1) ISO 4414: Pneumatic fluid power-Recommendations for the application of equipment to transmission and control systems.

*2) JIS B 8370: 空気圧システム通則

警 告

① 空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。

ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。これからも最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。

② 十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。

圧縮空気は、取扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立や操作、メンテナンスなどは、十分な知識と経験を持った人が行ってください。

③ 安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。

- 機械・装置の点検や整備は、被動体の落下防止処置や暴走防止処置などが為されていることを確認してから行ってください。
- 機器を取外す時は、上述の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源である供給空気と該当する設備の電源を遮断し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。
- 機械・装置を再起動する場合、飛出し防止処置がなされているか確認し、注意して行ってください。

④ 次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を戴くとともに、当社にご相談くださるようお願い致します。

- 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外での使用。
- 原子力、鉄道、航空、車両、医療機器、飲料・食料に触れる機器、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用。
- 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。

取付け

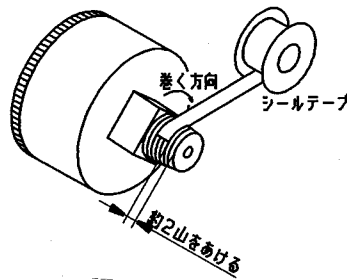
⚠ 注 意

- ① 運搬及び取付時、落下等による衝撃は加えないようにしてください。
示度精度不良の原因になります。
- ② 取付場所は湿度及び温度の高い場所には使用しないでください。作動不良の原因となります。
- ③ 取付姿勢は圧力計目盛の零点を下向きにし、地面に対して垂直にしてください。
- ④ 最大目盛以上の圧力を加えないようにしてください。作動不良の原因となります。
- ⑤ 圧力の脈動及び高頻度作動での場合は当社にご相談ください。

配管

⚠ 注 意

- ① 圧力計をねじ込む際は、必ず四角二面取り部にスパナをかけてねじ込んでください。他の部分を持ってねじ込むとエア漏れ及び破損の原因となります。
- ② シールテープを使用される時は、ねじ山を1.5～2山残して巻いてください。



- ③ねじ込みの際は下表の適性トルクにて締め込んで下さい。
目安としては手締め後、工具で2～3回転に相当します。

接続ねじサイズ	適正締付トルク N・m
R 1/8	7～9
R 1/4	12～14

空気源

⚠ 警 告

清浄な空気を御使用下さい。

圧縮空気がドレン、化学薬品、有機溶剤をベースとした合成油、腐食性ガス等を含む時は破損や作動不良の原因となりますので使用しないでください。

使用環境

⚠ 警 告

次のような場所では作動不良の原因となりますので、使用しないでください。

- ① カバーの材質は、ポリカーボネートです。合成油、シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレン等の有機溶剤、硫酸、硝酸などの化学薬品、切削油、灯油、ガソリン、ネジロック剤などの雰囲気または付着する場所での使用はできません。
- ② 振動または衝撃の起こる場所。
- ③ 日光が照射する場合は、保護カバー等で避けてください。
- ④ 周囲に熱源がある場合は、幅射熱を遮蔽してください。

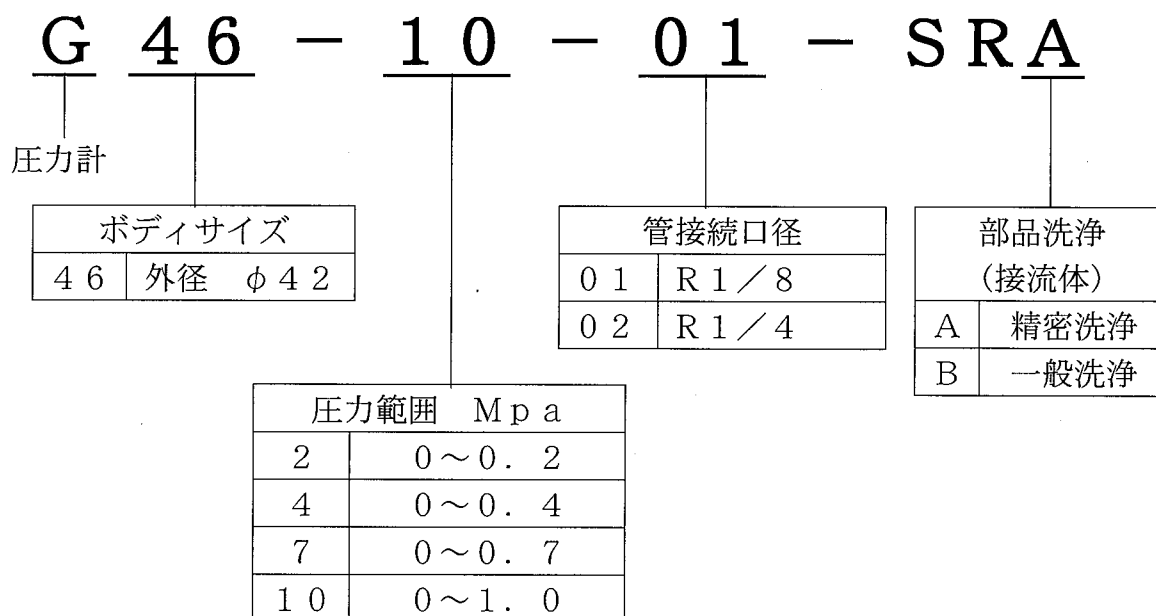
2. 用途

・本器は、エアラインの圧力確認を目的とするものです。

3. 仕様

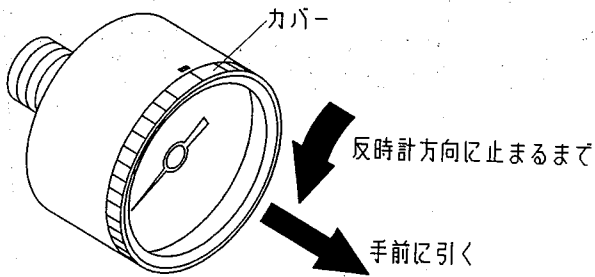
型式	G46			
溶接部品材質	SUS316			
接続口径	R1/8、R1/4			
圧力範囲 MPa {kgf/cm ² }	0~0.2	0~0.4	0~0.7	0~1.0
示度精度	±3%F・S (0~40℃) ±6%F・S (0~60℃)			
組付環境	A：精密洗浄 B：一般脱脂			
使用流体	空気			
部品洗浄 (接流体)	A：クリーンルーム (クラス10000) B：一般製造ライン			
周囲温度及び 使用流体温度	0~60℃ (凍結ナキコト)			
包装	A：株部にキャップを付け、圧力計をポリ密封袋に入れて出荷のこと。 B：株部にキャップを付け、圧力計をポリ袋に入れて出荷のこと。			
重量 gf	80			

4. 型式表示方法

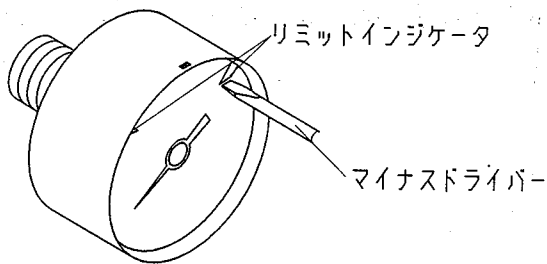


5. リミットインジケータの設定方法

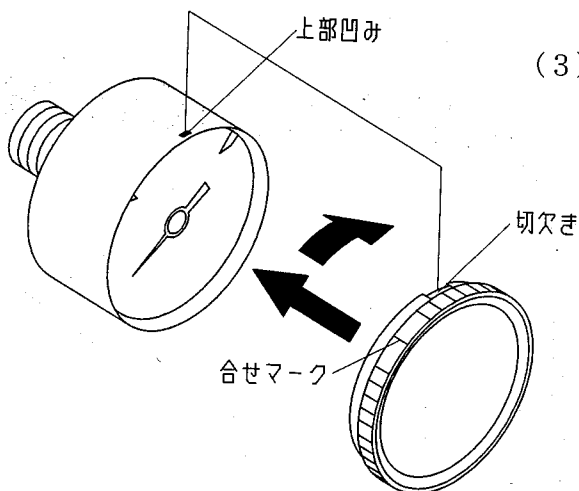
- (1) リミットインジケータ（緑色）の設定を行う場合は、カバーに指を掛けて反時計方向に（およそ6～7mm）止まるまで回し、手前にカバーを引いてカバーを外して下さい。



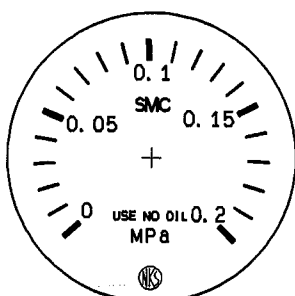
- (2) リミットインジケータ（緑色）の設定はマイナスドライバー（刃巾2.9mm）で行って下さい。その際、他の指針を曲げたり、目盛板に傷を付けない様注意して下さい。



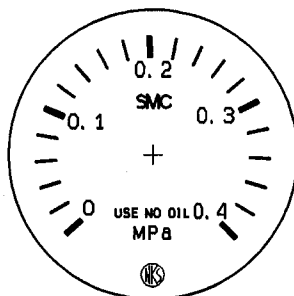
- (3) 設定後、カバーを元の様に取り付けます。黒いケースの上部凹みとカバーの切欠きが合う様にしてはめ込んで下さい。カバーを時計方向に（およそ6～7mm）回して、ケースの上部凹みとカバーの合わせマークが合ったことを確認して下さい。



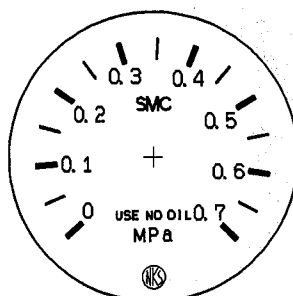
6. 目盛様式



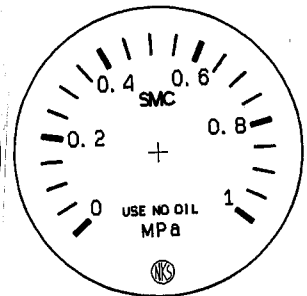
0.2MPa



0.4MPa

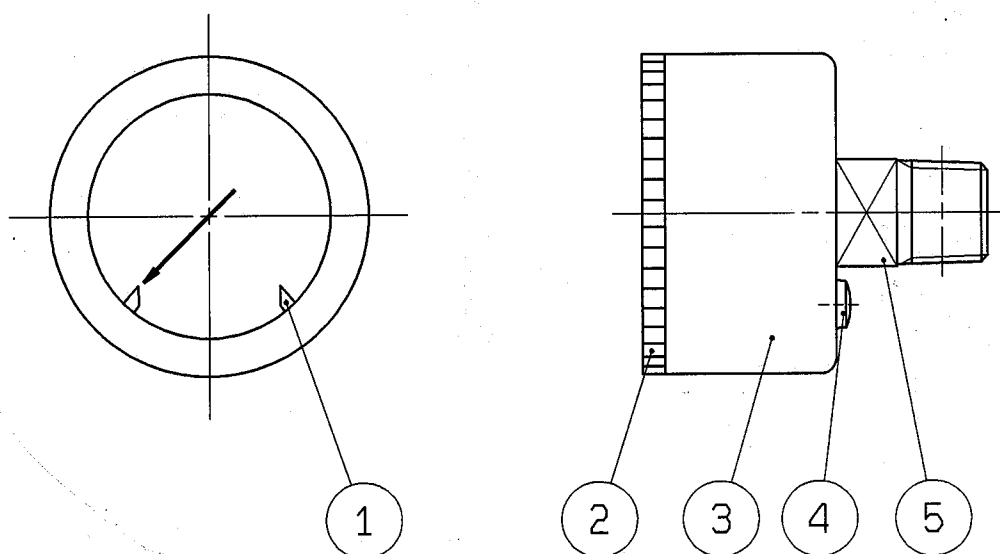


0.7MPa



1.0MPa

7. 外観図／パーツリスト



番号	名 称	材 質
1	リミットインジケータ	樹 脂
2	カバー	樹 脂
3	ケース	ステンレス
4	十字穴付バインド小ネジ	ステンレス
5	株	ステンレス

8. スペアパーツ

番号	部品名	部 品 番 号
2	カバー (ハードコート処理)	G46-00-00-2